

第6章 各島実施報告

第4節 伊江島

第1項 取り組み概要

前年度のコーディネーターが退職したことにより、モニターツアーが実施ができない状態となった。その結果、前年度と比較し造成本数は大幅に減少した。この状況に対し、事務局では、事務局員を伊江島へ派遣し、事業者説明会の実施や、体験プログラムの運営事業者、民泊事業者との調整、次年度のコーディネーターへツアーコンサルティング方法を伝授した。その結果、ツアーコンサルティングを4本、定員計60名のツアーコンサルティングを造成することができ、次年度のツアーコンサルティング実施に向けて、基盤となる形を創り上げた。

第2項 造成ツアーオーバー

1. 体験ダイビング & ホエールウォッチング！ダイナミックな春の伊江島を感じる
2. 伊江島の海のパワーを大満喫！ボートシュノーケル & ミネラルたっぷりお土産付き塩づくり♪
3. エメラルドの海でバナナボートシュノーケル！貝殻アクセサリー作り or 癒しのハーブティー作りの選べるプラン♪
4. 春休み特別プラン！家族で伊江島を大満喫♪手ぶら陸釣りorハーバリウム作りの選べるプラン & 乳しづく酪農体験

第3項 実施ツアーオーバー

※今年度催行無し。

第4項 実施ツアーオーバー概要

※今年度催行無し。

第5項 アンケート結果

※今年度催行無し

第6項 総括

■島の声

前年度はツアーコンサルティングの実施や急な変更で、コーディネーターと事業者が上手く連携が取れていない課題があった為、今後の実施方法を検討していく。また、他の離島と差別化できるよう、伊江島ならではの体験商品を開発し、体験プログラムとしてツアーコンサルティングに組み込んでいきたい。

■参加者の声

※今年度催行無し

■総括

島あつちい事務局員の出向によりモニターツアーコンサルティングを行ったことで、伊江島の各事業者へ島あつちい事業の実施に対する基盤づくりが可能となった。しかし、コーディネーターである伊江島観光協会の体制が未だ完全ではない状況にある為、ロードマップについては目標などの数値を含め未確定としている部分もある。次年度、自走化に向けての具体的な数値を決定していく必要がある。